SONY

3-046-452-**05** (1)

パーソナル オーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MD Link

ZS-D55

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

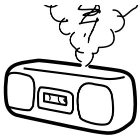
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり､キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら､すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　強制

目次

⚠警告・⚠注意 4

ここだけ読んでも使えます

CDを聞く 8
ラジオを聞く 10
テープを聞く 12
録音する 14

CD

表示窓の見かた 17
聞きたい曲を選ぶ
（ダイレクト選曲/サーチ） 18
繰り返し聞く（リピート演奏） 19
順不同に聞く（シャッフル演奏） . 20
聞きたい曲を好きな順に聞く
（プログラム演奏） 21
1曲だけ聞く（1曲演奏） 23

ラジオ

放送局を記憶させる 24
記憶させた放送局を聞く
（プリセット選局） 25

テープ

曲の頭出しをする 26

音質

好みの音質で聞く 27

タイマー

時計を合わせる 28
音楽で目覚める 29
音楽を聞きながら眠る
（スリープ機能） 31
留守中にラジオを録音する 32

準備

電源を準備する 34
MDなどをつないで使う 36

その他

使用上のご注意 38
故障かな?と思ったら 39
お手入れ 42
保証書とアフターサービス 43
主な仕様 43
各部のなまえ 45
用語集 49
索引 50

この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」（45～48ページ）も併せてご覧ください。

⚠警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

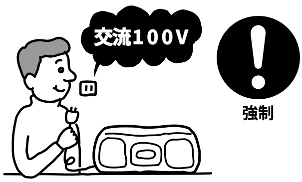
万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない



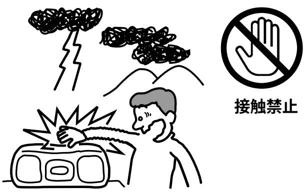
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない



交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない



感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

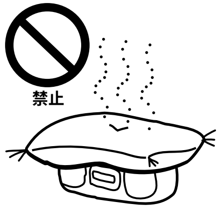
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

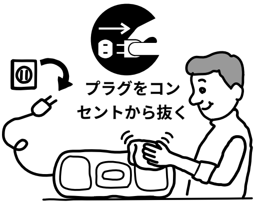
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



⚠注意 つづき

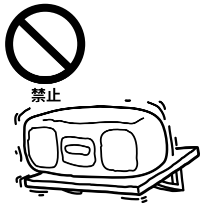
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



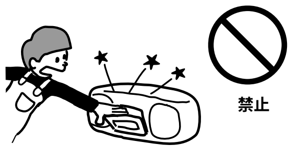
大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときには、医師に相談してください。

⚠注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- パーソナルオーディオシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

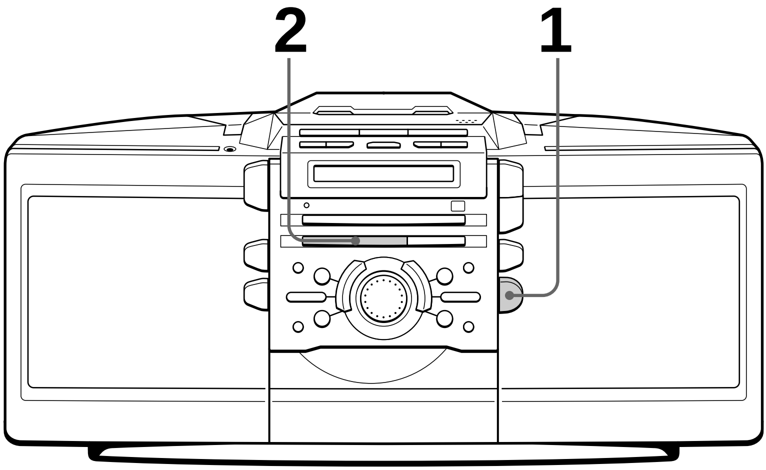
著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについて

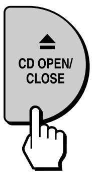
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDを聞く



準備 ➡「電源を準備する」（34~35ページ）をご覧ください。

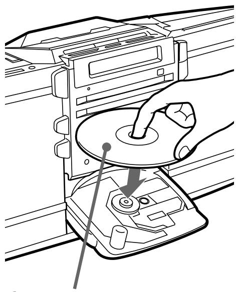
1



オープン　クローズ

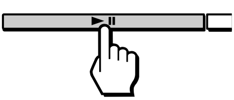
⏏ CD OPEN/CLOSEを押してCDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、CDトレイが出てきます。
カチッと音がするまでCDをはめこんでください。



文字のある面を上に

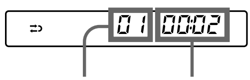
2



►IIボタンを押す。（リモコンではCDの►ボタンを押す。）

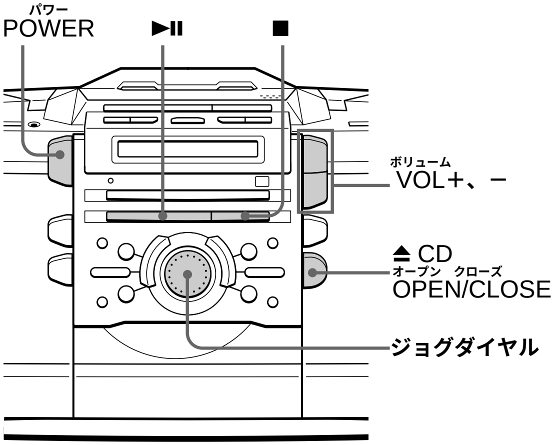
CDトレイが閉まり、再生が始まります。

本体表示窓



曲番　演奏経過時間

その他の操作



ちょっと一言

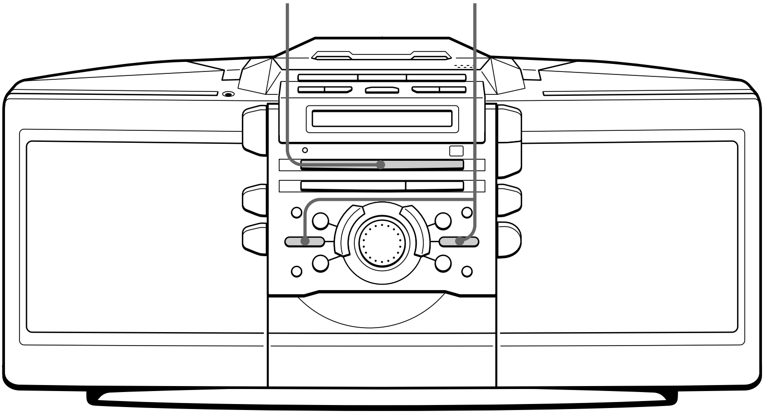
一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときは►IIボタンを押すだけで電源が入り、演奏を始めることができます。

こんなときは	押すボタン／操作
音量を調節する	VOL＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	►II（II） もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	ジョグダイヤルを左へ回す。 （I◄◄ を押す。）
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右へ回す。 （►►Iを押す。）
CDを取り出す	≜ CD OPEN/CLOSE
電源を入/切する	POWER

（　　）内はリモコンのボタンです。

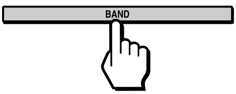
ラジオを聞く

1 2



準備 ➡「電源を準備する」（34~35ページ）をご覧ください。

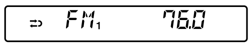
1



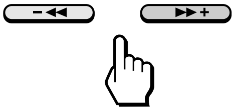
BAND（バンド）ボタンを押して、FM1、FM2、またはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM1」、「FM2」または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

本体表示窓



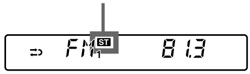
2



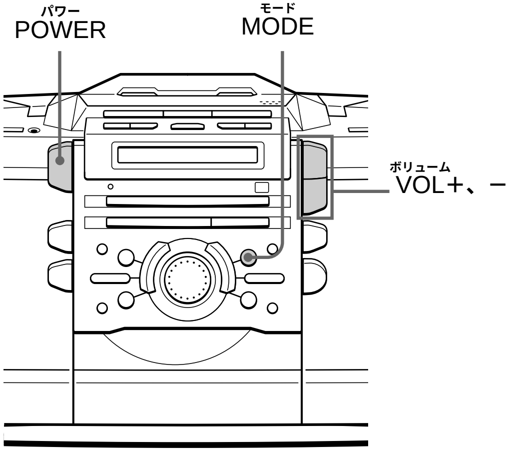
−◀◀または▶▶+ボタン（チューン）（リモコンではTUNE+または−ボタン）を押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、−◀◀または▶▶+ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

ステレオ放送のとき出る



その他の操作

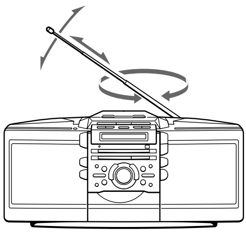


こんなときは	押すボタン
音量を調節する	ボリューム VOL＋、－
電源を入/切する	パワー POWER

受信状態をよくする

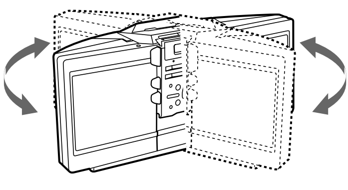
FM（TV1 - 3ch）**放送のとき**

アンテナを伸ばし、向きを変える。



AM**放送のとき**

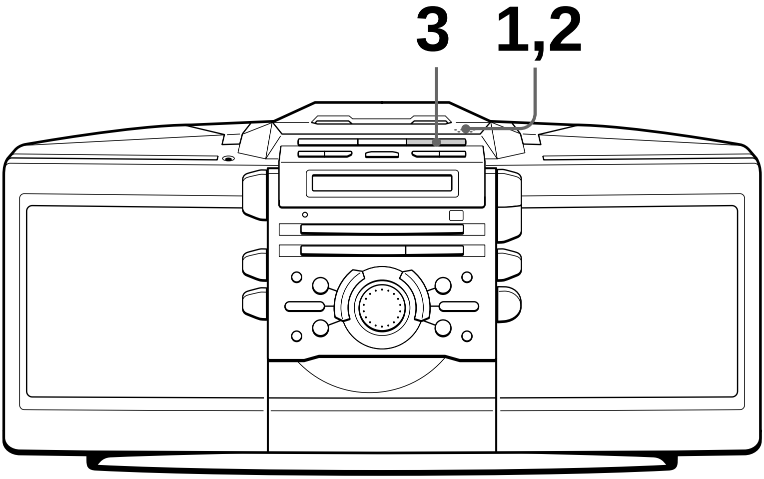
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



ちょっと一言

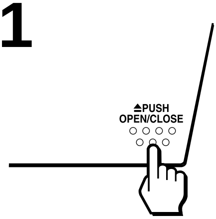
- FM1、FM2は同じ機能です。放送局を分けて記憶させるのに便利です（24ページ）。
- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、TV1－3のステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、MODEボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはBANDを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

テープを聞く

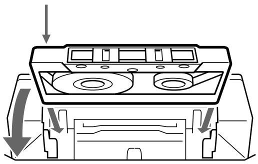


準備 ➡「電源を準備する」（34~35ページ）をご覧ください。

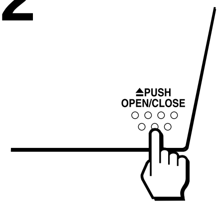
1



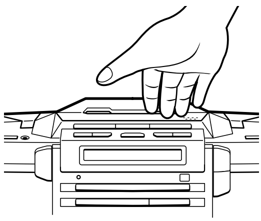
≜PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン クローズ）を押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。



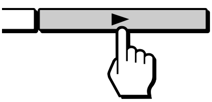
2



≜PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン クローズ）を押してカセットぶたを閉める。



3

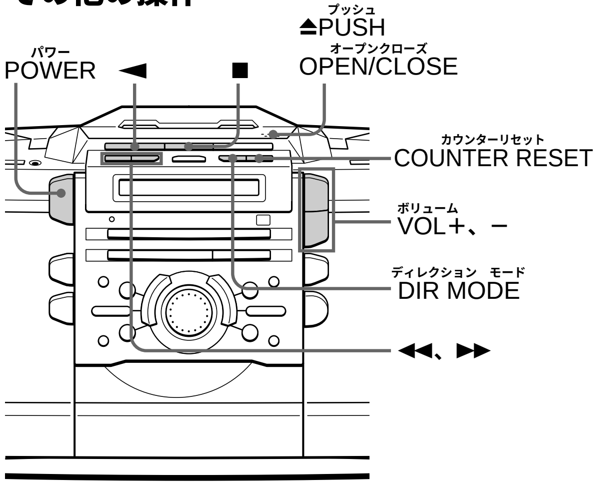


►ボタンを押す。（リモコンではTAPEの►ボタンを押す。）

自動的に電源が入り、再生が始まります。



その他の操作



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOL＋、－
再生を止める	■
反対面を再生する	◀
早送りや早戻しをする	◀◀または▶▶
カセットを取り出す	⏏PUSH OPEN/CLOSE
電源を入/切する	POWER

再生する面（片面か両面）を選ぶには

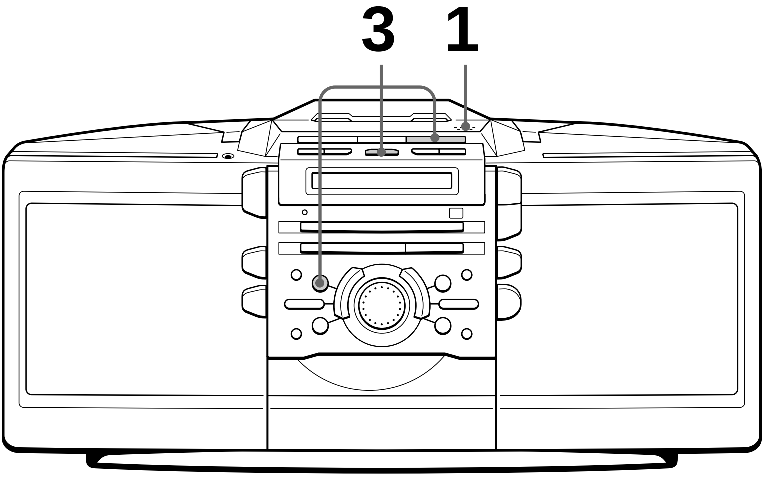
DIR MODEボタンを押すたびに、下のように切り換わります。

	表示窓
片面だけを聞く	⇄
両面を聞く	⇄)
両面を繰り返して聞く	(⇄)

ちょっと一言

- テープカウンターはCOUNTER RESETボタンを押すと、000に戻ります。あとから頭出しするのに便利です。
- 一度テープを入れておけば、次にテープを聞くときは ▶ または ◀ ボタンを押すだけで電源が入り、聞くことができます。
- TYPE I（ノーマル）、TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）のどのテープも再生に使えます。

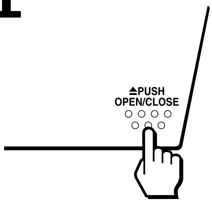
録音する—TYPE I（ノーマル）テープ専用



準備 ➡「電源を準備する」（34~35ページ）をご覧ください。

MDなどへの録音➡「MDなどをつないで使う」（36ページ)をご覧ください。

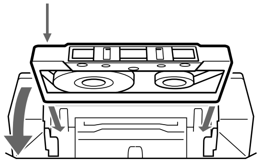
1



⏏PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン クローズ）を押してカセットぶたを開け、録音用カセットを入れる。

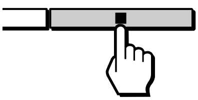
TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。
閉めるときも⏏PUSH OPEN/CLOSEを押します。

録音を始める面を上に



2

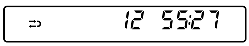
録音するものを選ぶ。

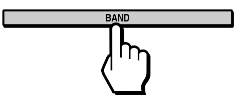


CDを録音するとき

CDを入れる（8ページ参照）。CDの■ボタンを押して、CDを録音できる状態にする。

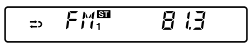
本体表示窓





ラジオを録音するとき

録音する局を受信する（10ページ参照）。



3



録音を始める。

CDをまるごと録音するとき
（ワンタッチダビング）

CD DUBボタンを押す。上面から録音が始まります。

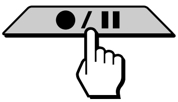


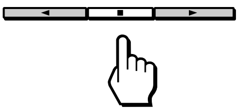
- **⇄⊃が表示されている時は**

  曲の途中でテープが反転してしまった場合は、再生中の曲の頭まで戻って反対面の最初から録音が始まります。

- **⇄が表示されている時は**

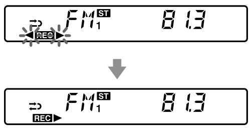
  片面の最後まで録音し終えると、自動的にテープとCDの再生が停止します。





ラジオを録音するとき（CDもこの方法で録音できます。テープが回ってからCDの再生を始めてください。）

●/❚❚ボタンを押したあと、►ボタンを押す。（リモコンでは、●/❚❚ボタンを押しながらTAPEの►ボタンを押す。)



ご注意

本体では、●/❚❚ボタンを押してから4秒以内に►ボタンを押してください。

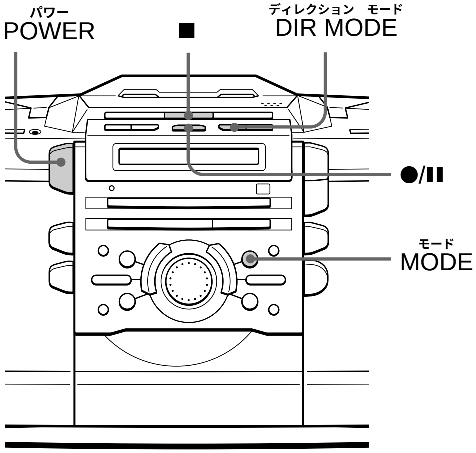
次のページへつづく

録音する（つづき）

ちょっと一言

- 反対面に録音するには、►ボタンの代わりに◄ボタンを押します。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 表示窓に ⇄ または ⊂⇄⊃ が出ていると、テープの両面に録音されます。片面だけに録音するときは、DIR MODEボタンを押して ⇄ を出します。
- AM放送を録音するとき、手順3で●/❚❚ボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、MODEボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- CDの最初の1曲だけを録音するには、MODEボタンで「1TRACK」を表示させてからCD DUBボタンを押します。

その他の操作



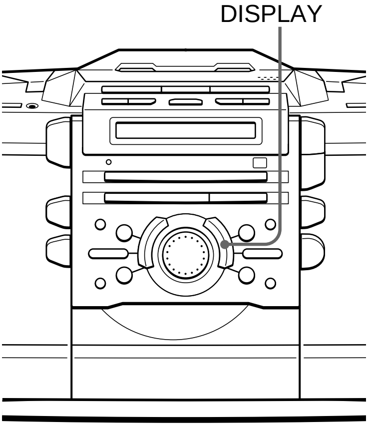
こんなときは	押すボタン
録音を止める	■
録音を一時停止する（ワンタッチダビング時はできません。）	●/❚❚ もう一度押すと録音が始まります
電源を入/切する	POWER（パワー）

録音した音を消去するには

1 デッキに音を消したいカセットを入れ、テープの■ボタンを押す。
2 ●/❚❚ボタンを押したあと、►ボタンを押す。（リモコンでは、●/❚❚ボタンを押しながら、TAPEの►ボタンを押す。）

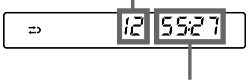
表示窓の見かた

表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。



全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、DISPLAYボタンを押す。



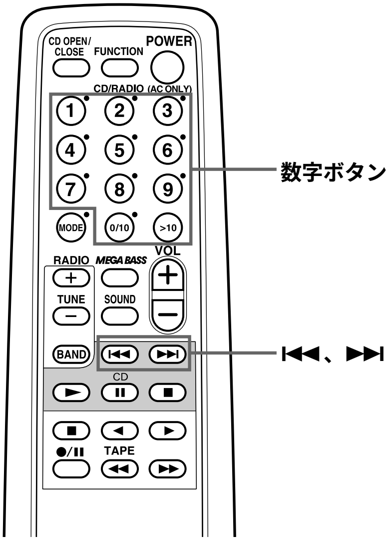
残り時間を調べるには

演奏中、DISPLAYボタンを押す。

表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間	3回

*21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「--:--」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ
（ダイレクト選曲／サーチ）



リモコンの数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏が始められます。⏮、⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。

ご注意

ダイレクト選曲の場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、CDの■ボタンを押して消します。

ちょっと一言

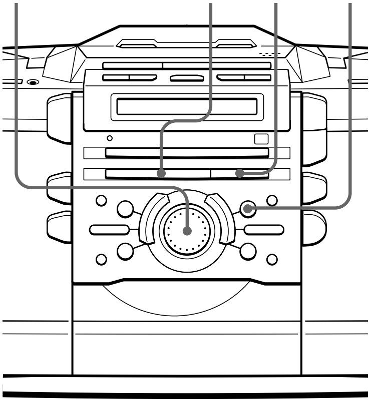
11曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す(サーチ）	演奏中に⏮ または⏭ボタンを 押したままにする。（本体では–◀◀または▶▶+ボタンを使います。）
表示窓の演奏時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に⏮ または⏭ボタンを押したままにする。（本体では–◀◀または▶▶+ボタンを使います。）

繰り返し聞く
（リピート演奏）

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。



ご注意

1曲リピート、全曲リピートの場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、CDの■ボタンを押して消します。

リモコンでは

- 「REP 1」を選んだときは、数字ボタンを押して曲を選びます。
- ►IIボタンの代わりに►ボタンを使います。

1 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 次の操作をする。

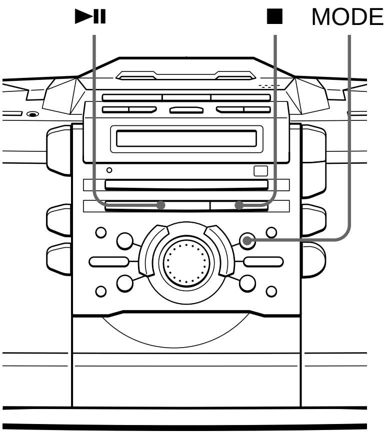
リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1 MODEボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 ジョグダイヤルを回して曲を選び、►IIボタンを押す。
全曲を繰り返す	1 MODEボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ►IIボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 MODEボタンを押して「REP」と「SHUF」を表示させる。 2 ►IIボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 MODEボタンを押して「REP」と「PGM」を表示させる。 2 プログラムする（21ページの手順3参照）。 3 ►IIボタンを押す。

リピート演奏をやめるには

MODEボタンを押して「REP」表示を消します。

順不同に聞く
（シャッフル演奏）

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



リモコンでは

MODEボタンで「SHUF」を選び、CDの►ボタンで演奏を始めます。

1 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 MODEボタンを押して「SHUF」を表示させる。

3 ►IIボタンを押す。

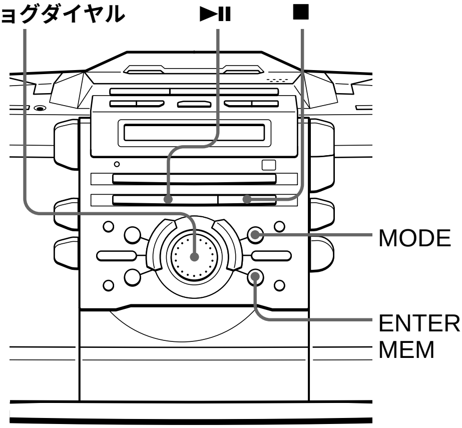
演奏が始まります。

シャッフル演奏をやめるには

MODEボタンを押して「SHUF」表示を消します。

聞きたい曲を好きな順に聞く
（プログラム演奏）

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラムすることができます。



リモコンでは

1 CDの■ボタンを押す。
2 MODEボタンを押して「PGM」を選ぶ。
3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。
4 CDの►ボタンを押す。

ちょっと一言

曲番を選び間違えたときは、CANCELボタンを押してから、曲を選び直します。

ご注意

21曲以上入ったCDの21曲目以降の曲をプログラムすると、プログラムの合計時間は「--:--」と表示されます。

1 CD**の■ボタンを押す。**

「Cd」が表示されます。

2 MODE**ボタンを押して「**PGM**」を表示させる。**

3 ジョグダイヤルを回して曲番を選び、ENTER•MEM**ボタンを押す。**

この操作を繰り返します。



4 ►IIボタンを押す。

プログラムした順に演奏が始まります。

次のページへつづく

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム演奏）（つづき）

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶❚❚ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDトレイを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには
  1 プログラムを作ってから録音用カセットを入れる。
  2 CD DUBボタンを押す。

プログラム演奏をやめるには

MODEボタンを押して「PGM」表示を消します。

曲順を確認するには

停止中に、ENTER•MEMボタンを押します。ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番号が表示されます。

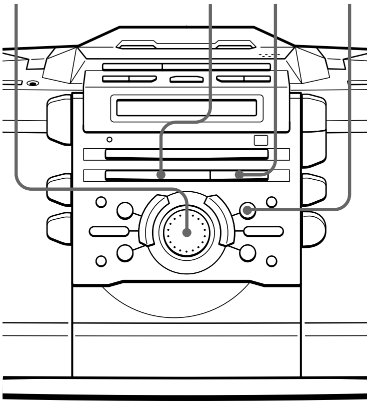
プログラムを変更するには

演奏を始める前に変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	1 CANCELボタンを押す。最後にプログラムした曲が消えます。 2 プログラムし直す。
プログラムをし直す	1 CDの■ボタンを押して、プログラムを消す。 2 初めからプログラムし直す。

1曲だけ聞く
（1曲演奏）

CDの1曲だけを演奏して止まります。



リモコンでは

1 CDの■ボタンを押す。
2 MODEボタンを押して「1TRACK」を選ぶ。
3 数字ボタンを押して曲を選ぶ。

ちょっと一言

「1TRACK」が表示されているときにCD DUBボタンを押すと、その曲だけが録音されます。

1 CD**の■ボタンを押す。**

「Cd」が表示されます。

2 MODE**ボタンを押して「**1TRACK**」を表示させる。**

3 **ジョグダイヤルを回して曲を選ぶ。**

4 **►IIボタンを押す。**

選んだ曲の演奏が始まります。

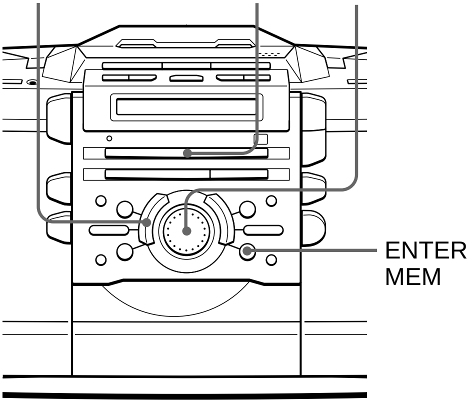
1曲演奏をやめるには

MODEボタンを押して「1TRACK」表示を消します。

C
D

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM1、FM2、AM各10局ずつ、合計30局まで記憶できます。



ちょっと一言

FM1またはFM2を選んで自動的に放送局を記憶させると、最初の10局がFM1に、さらに10局がFM2に記憶されます。

リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
2 TUNE+または－ボタンを押して、放送局を選ぶ。
3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

1 **BANDボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。**

2 **「AUTO」が表示されるまで、AUTO PRESETボタンを押したままにする。**



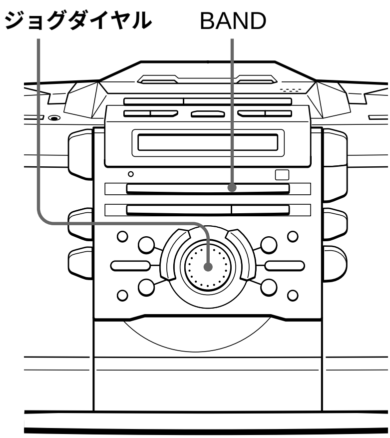
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くAUTO PRESETで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1 BANDボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
2 ENTER•MEMボタンを表示窓の表示が点滅するまで約2秒間押したままにする。
3 ジョグダイヤルを回して、プリセット番号を選ぶ。
4 ENTER•MEMボタンを押す。
5 －◀◀または▶▶+ボタンを押して、放送局を選ぶ。
6 ENTER•MEMボタンを押す。

新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた放送局を聞く
（プリセット選局）



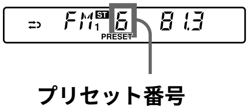
本体のジョグダイヤルやリモコンの数字ボタンで、簡単に放送局を選ぶことができます。

リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ。
2 聞きたい局のプリセット番号の数字ボタンを押す。

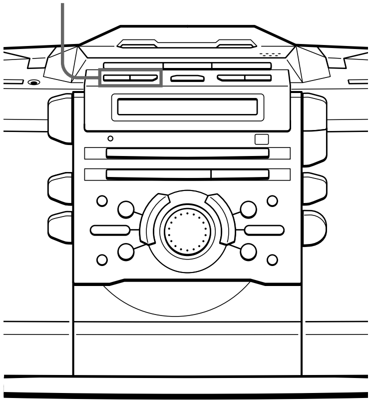
1 BAND**ボタンを押して、**FM1**、**FM2**または**AM**を選ぶ。**

2 ジョグダイヤルを回して聞きたい局のプリセット番号を表示させる。



ラジオ

曲の頭出しをする



テープの曲と曲の間の無音部分（あき）を探して、簡単に頭出しができます。

ご注意

- 正確に頭出しするには曲間に約4秒の無音部分が必要です。
- 非常に小さい音の部分が何秒か続くと、曲の途中でも再生が始まることがあります。
- 曲間の無音部分から頭出しを始めると、正確に頭出しできないことがあります。

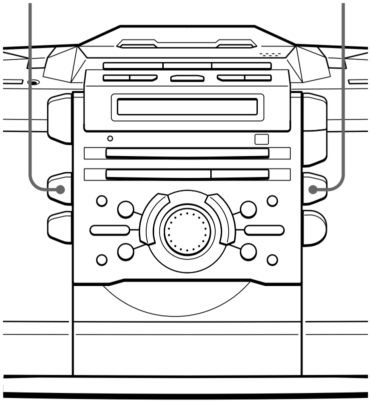
再生中に次のボタンを押す。

再生している面	次の曲の頭出し	今聞いている曲の頭出し
上面（▶）	▶▶	◀◀
反対面（◀）	◀◀	▶▶

曲の初めまで早送りまたは早戻しされ、自動的に再生が始まります。

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。



サウンド効果を楽しむ

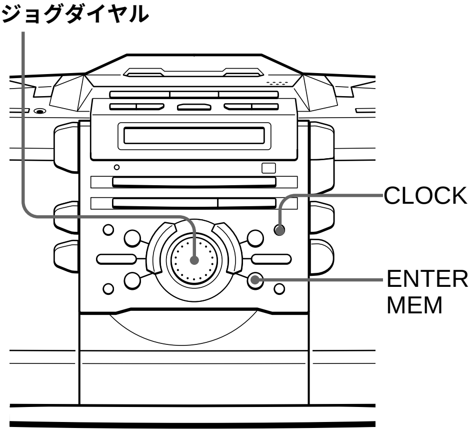
SOUNDボタンを押す。
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

表示窓	用途と音質
ROCK	**ロックなどに** 重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
POP	**ポップスなどに** 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
JAZZ	**ジャズなどに** 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
VOCAL	**ボーカルを聞きたいときに** 中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。
OFF	**クラシックなどに** ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

重低音を楽しむ

MEGA BASSボタンを押す。
「MEGA BASS」が表示されます。通常の音に戻すにはもう一度MEGA BASSボタンを押します。

時計を合わせる



本機の時計は、時刻を合わせるまで「– – : – –」が表示されています。

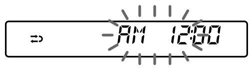
ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中 :「AM12:00」
  正午　 :「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス（117番）をご利用になると便利です。
- 電源コードをお使いの場合、時計が動いているときは、コロン(:)が点滅します。

操作の前に

電源の準備をしてください（34、35ページ参照）。

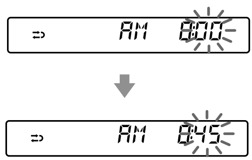
1 「時」の表示が点滅するまで、CLOCKボタンを押したままにする。



2 時刻を合わせる。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ENTER•MEMボタンを押す。

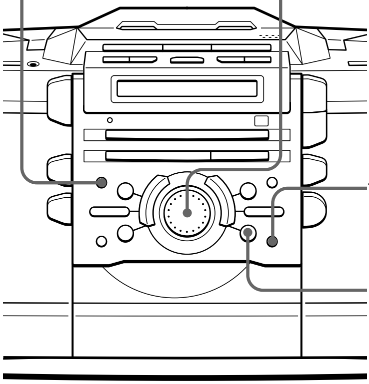
② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせる。



3 ENTER•MEMボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

音楽で目覚める



好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。
本機の時計合わせをしてから操作してください（28ページ参照）。

タイマー

ご注意

目覚ましタイマーとラジオの留守録音（32ページ）は同時に予約できません。

操作の前に

表示窓に⏻が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
Cd	CDを入れる。
RAdIO（ラジオ）	聞きたい局を受信する。
TAPE（テープ）	テープを入れる。

2 TIMERボタンを押す。

⏻が点滅します。
このあと表示窓で確認しながら設定していきます。



3 ジョグダイヤルを回して聞きたい音源（「Cd」「TAPE」または「RAdIO」）を表示させ、ENTER•MEMボタンを押す。

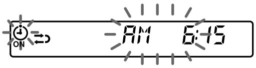
次のページへつづく

音楽で目覚める（つづき）

ちょっと一言

設定を間違えたときは、CANCELボタンを押します。
最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

4　再生を始める時刻を設定する。

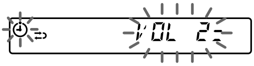


① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ENTER•MEMボタンを押す。

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、ENTER•MEMボタンを押す。

5　同じように再生を止める時刻を設定する。

6　ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、ENTER•MEMボタンを押す。



ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して表示窓の⏻を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

7　STANDBYボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、⏻が表示されます。予約した時刻になると自動的に再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMERボタンを押してから、ENTER•MEMボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

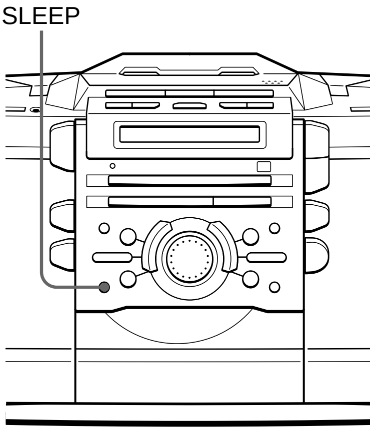
予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。（ラジオの場合29ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時間には、別の局が始まります。）予約した時間になる前に電源を切ります。

予約再生中、途中で止めるには

電源を切ります。

音楽を聞きながら眠る（スリープ機能）



指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

ちょっと一言

- スリープ機能が働いているときは、表示窓のバックライト照明はつきません。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから（29ページ参照）、電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

1 **聞きたい音楽の演奏を始める。**

2 SLEEP**ボタンを押して、「**SLEEP**」を表示させる。**

3 SLEEP**ボタンを押して時間（分）を選びます。**



ボタンを押すごとに「60」→「90」→「120」→（表示なし）→「10」→「20」→「30」と変わります。

SLEEPボタンを押してから4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止めるには

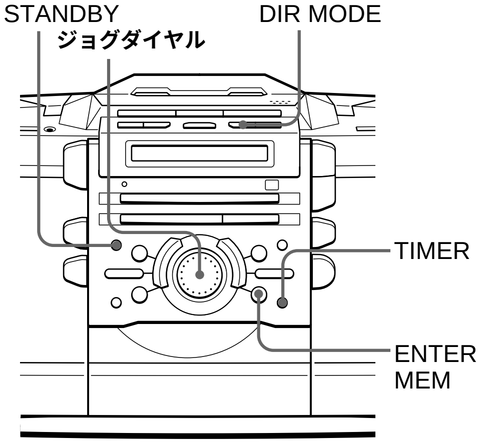
SLEEPボタンを押して「SLEEP」を消します。

スリープ時間を変更するには

手順2からやり直してください。

留守中にラジオを録音する

留守中や深夜など、その場で録音できないときにタイマーを使って録音できます。
本機の時計合わせをしてから操作してください（28ページ参照）。



ご注意

ラジオの留守録音と目覚ましタイマー（29ページ）は同時に予約できません。

ちょっと一言

- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するときは、手順1で受信した後、●/❚❚ボタンを押してピーッという雑音が出ないか確認してください。雑音が出ていたら、MODEボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。

操作の前に

表示窓に⏲が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

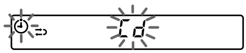
1 録音したい放送局を受信し、デッキに録音用カセットを録音する面を上にして入れる。

2 DIR MODEボタンを押して、録音する面（片面か両面）を選ぶ。

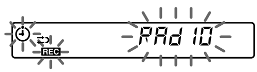
	表示窓
片面	
両面	

3 TIMERボタンを押す。

⏲が点滅します。
このあと表示窓で確認しながら設定していきます。



4 ジョグダイヤルを回して、「RAdIO」と「REC」を表示させ、ENTER•MEMボタンを押す。



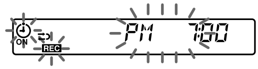
ちょっと一言

設定を間違えたときは、CANCELボタンを押します。
最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを2回押して表示窓の⏻を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- 両面録音の場合は、両面の録音が終わるとそこで止まり、上書きはされません。

5 録音を始める時刻を設定する。

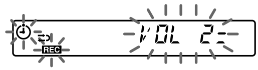


① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ENTER•MEMボタンを押す。

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、ENTER•MEMボタンを押す。

6 同じように録音を止める時刻を設定する。

7 ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、ENTER•MEMボタンを押す。



8 STANDBYボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、⏻と録音されるテープ面表示（上面►または反対面◄）が出ます。録音される面を切り換えるには、もう一度STANDBYボタンを押します。

予約した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMERボタンを押してから､ENTER•MEMボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

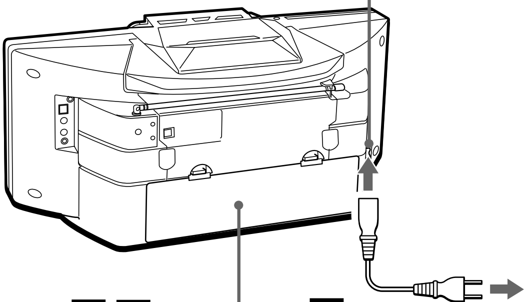
電源を入れれば、通常の操作ができます。（ラジオの場合32ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時間には、別の局が始まります。）予約した時間になる前に電源を切ります。

予約録音中、途中で止めるには

電源を切ります。

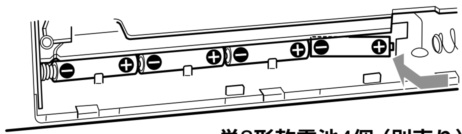
電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。
録音するときは、電力消費量が大きいため、家庭用電源でお使いください。



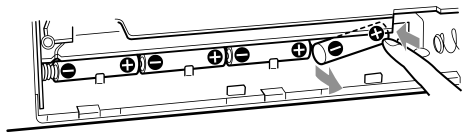
1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。



単3形乾電池4個（別売り）

取り出すときは、⊕側を押します。



2 電源コードを接続する

本機のAC INジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

ご注意

電源コードを抜いたり乾電池を取り出す前に、必ず電源を切ってください。

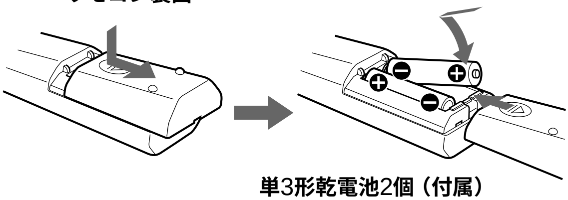
ちょっと一言

乾電池のみで使用中、メモリー用の乾電池が消耗してくると、表示窓の時計表示が薄くなったり、タイマーの操作ができなくなったりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。電池は約6か月もちます。電源コードをつないだままで交換すると記憶内容がそのまま残ります。

ちょっと一言

電源コードの極性（コンセントにプラグを差し込む向き）により音質が微妙に変わります。どちらかお試しになり、好みの音質でお聞きください。

3 リモコンに乾電池を入れる



単3形乾電池2個（付属）

乾電池の交換について

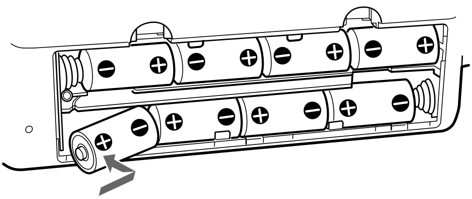
乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

ご注意

- 本機には充電式ニカド電池や充電式ニッケル水素電池などの充電式電池は使えません。
- 乾電池を出し入れするときは、他の機器とつないでいる接続コードやケーブルをはずしてください。接続コードやケーブルが傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合は、表示窓のバックライトはつきません。また、リモコンで電源を入れることはできません。

4 乾電池を入れる

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。



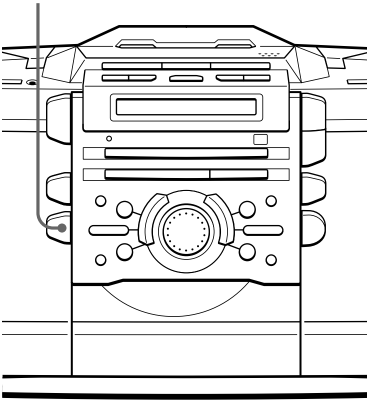
単1形乾電池8個（別売り）

乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくるとOPR/BATTランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

準備

MDなどを つないで使う



CDをMDに録音したり、ポータブルMDやテレビ、ビデオの音を本機のスピーカーで聞くことができます。他の機器と接続するときは電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

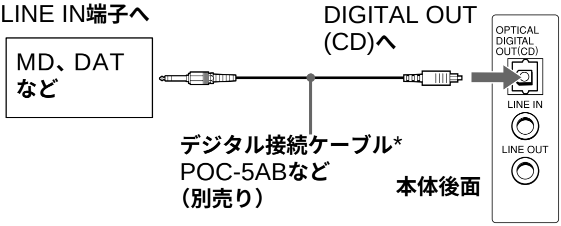
ご注意

接続コードはしっかり差し込んでください。誤動作の原因になります。

ちょっと一言

- OPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子の保護キャップをはずしたら、本機背面のキャップ入れに収納できます（47ページ）。
- 複数のCDから1曲ずつ録音するときは、1TRACK機能が便利です。（23ページ参照）
  1 接続する。
  2 電源を入れる。
  3 23ページの手順1〜3を行う。
  4 接続した機器を録音状態にする。
  5 本機のCDの再生を始める。

CDをMDやDATに光デジタル出力で録音する



1 本体後面のOPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子の保護キャップをはずし、別売りのデジタル接続ケーブルで、接続する機器のデジタル入力端子とつなぐ。
2 電源を入れる。
3 接続した機器を録音状態にする。
4 本体のCDの再生を始める。

* 相手側のデジタル入力端子の形状によって、接続ケーブルが異なります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は角型光コネクターを採用しています。

接続する端子の形状	接続ケーブルの型名
光ミニプラグ（ポータブルMDなど）	POC-5AB
L型7ピンコネクター（ポータブルDATなど）	POC-DA12P
角型光コネクター（MD、DATデッキなど）	POC-10A

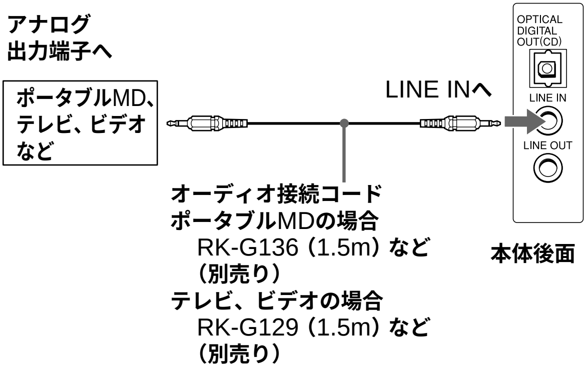
ちょっと一言

つないだ機器の音を録音するには、手順2のあとで、デッキにカセットを入れ、●/❚❚ボタンを押したあと►ボタンを押します。（15ページ参照）

ご注意

- 「Cd」が表示されているとき、CDが停止状態でも光デジタル出力部は動作していますので、ジャックは光っています。
- CD-ROMなどの音楽用以外のディスクを演奏すると雑音が出ることがあります。

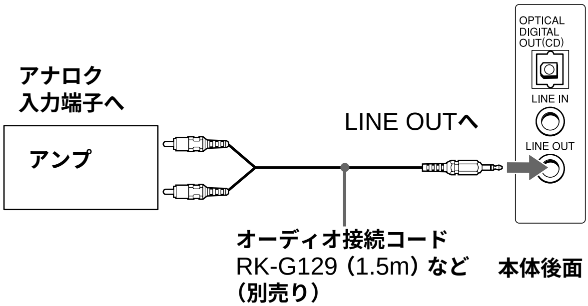
ポータブルMDやテレビ、ビデオの音を聞く



1 別売りの接続コードを、接続する機器の出力端子と本体後面のLINE IN端子につなぐ。

2 電源を入れ、MD（LINE）ボタンを押す。
ランプが点灯して、接続した機器からの音がスピーカーから出ます。

別のスピーカーで聞く



1 別売りの接続コードを接続する機器の入力端子と本体後面のLINE OUT端子につなぐ。

2 本機を操作する。

準備

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDトレイを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

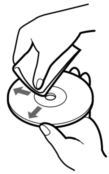
- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

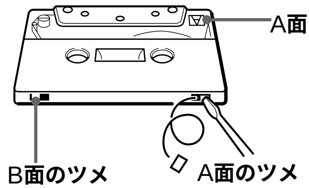
- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



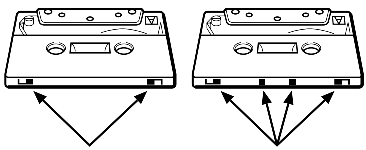
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



TYPEII（ハイポジション）またはTYPEIV（メタル）カセットの穴をふさぐときは、間違って検出孔をふさがないように注意してください。検出孔をふさぐとテープ自動検出機能（ATS）が正しく働きません。



TYPEII（ハイポジション）カセット検出孔　**TYPEIV（メタル）カセット検出孔**

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、44ページに記載されているテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

	症状	チェック項目
共通	電源が入らない。	• POWERボタンを押して電源を入れる。 • 電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかり差し込む。 • 乾電池は⊕⊖を正しく入れる。(35ページ) • 乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(35ページ) • 充電式ニカド電池や充電式ニッケル水素電池などの充電式電池を使用している→本機は充電式電池では動きません。
	音が出ない。	• 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧ジャックから抜く。
	自動的に電源が切れる。	• 乾電池をすべて新しいものと交換する。(35ページ)
	異常音が出る。 雑音が多い、音が小さい、音質が良くない。	• 乾電池が消耗していたら新しいものと交換する。(35ページ)
	雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。
	表示窓に「bAttEry」と「CHECK」が交互に点滅している。	• 乾電池の向きが正しくない→乾電池を正しく入れる。(35ページ)
CD部	演奏が始まらない。	• CDトレイが閉まっていることを確認する。
	CDが入っているのに「no dISC」が表示される。	• CDが裏返し→文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい→クリーニングする。(38ページ) • レンズに露(水滴)がついている→CDを取り出してCDトレイを開けたまま1時間くらい置く。 • CDの■ボタンを押して、CDの操作ができるようにする。 • 本機では、CD-RWを再生できません。

その他

次のページへつづく

故障かな?と思ったら（つづき）

	症状	チェック項目
CD部	音がとぶ。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい→クリーニングする。（38ページ） • CDに傷がある→CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • パソコンなどで記録したCD（CD-Rなど）は、音がとんだり雑音が入ることがあります。
	CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。
ラジオ部	FM受信時、ステレオにならない。	• MODEボタンを押して、「STEREO」を表示させる。（11ページ） • ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。
	雑音が入る。	• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。（11ページ） • 乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（35ページ） • テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 • AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。 • このラジオ（チューナー）のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。

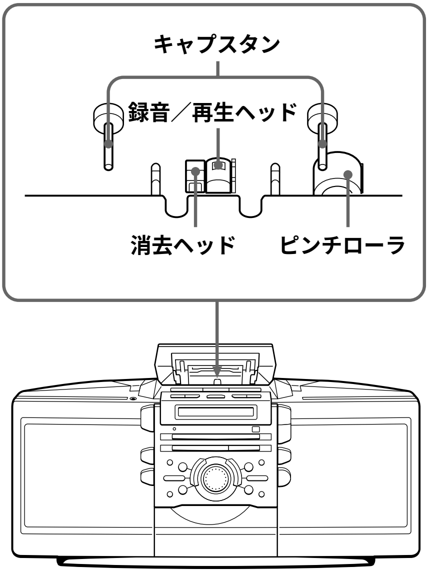
	症状	チェック項目
テープ部	操作ボタンを押してもテープが動かない。	• カセットぶたをきちんと閉める。 • 乾電池をすべて新しいものと交換する。（35ページ）
	録音ができない。	• デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。（38ページ） • テープの■ボタンを押してテープの操作ができるようにする。
	前の録音が完全に消えない。	• 消去ヘッドをクリーニングする。（42ページ） • TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）テープを使っている→録音できるテープはTYPE I（ノーマル）のみです。
	雑音が多い。音質が良くない。	• 乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（35ページ） • ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。（42ページ） • ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。（42ページ）
	再生中に一時停止ができない。	• 一時停止ができるのは、録音時のみです。
タイマー（時計）部	タイマーが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。（28ページ） • 乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（35ページ） • テープが最後まで巻きとられていないことを確かめる。 • 電源コードで使用中、停電があった。 • ⏻表示が出ていることを確認する。
リモコン	リモコンで操作ができない。	• リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（35ページ） • リモコンを本体へ向けて操作する。 • 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 • 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、電源コードをはずし、すべての乾電池を取り出し、表示窓の表示がすべて消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。それでもまだ正しく動かないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。より良い音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。
カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音／再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20 – 20,000Hz +0.5/–1.2dB（JEITA）

ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76 – 108MHz (1 - 3 ch) AM: 531 – 1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8cm、コーン型 12Ω、2個
早巻き時間	約112秒（ソニーカセットテープC-60 使用）
周波数範囲	TYPEⅠ（ノーマル）カセット: 50―15,000Hz（JEITA）
入力端子	LINE IN（ステレオミニジャック）1個 最小入力レベル 138mV
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 8-32Ω LINE OUT（ステレオミニジャック）1個 規定出力レベル 138mV、47kΩ負荷時 負荷インピーダンス47kΩ以上 光デジタル出力（光角型出力コネクター）1 個 発光波長 630 – 690nm
実用最大出力	4.5W＋4.5W（JEITA/12Ω）

その他

次のページへつづく

主な仕様（つづき）

電池持続時間

測定条件＼使用乾電池	ソニーニュースーパー R20P	ソニーアルカリ LR20
テープ再生時** (JEITA)	約3時間	約6時間
FM録音時 (JEITA)	約6時間	約12時間
CD再生時** (JEITA)	約1.5時間	約3時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

** 音量6分目程度

電源	本体用： 家庭用電源（AC100V, 50/60Hz） 単1形乾電池8個使用 (DC 12V) メモリー用： 単3形乾電池4個使用 （DC 6V） リモコン用： 単3形乾電池2個使用 （DC 3V）
消費電力	24W
最大外形寸法	約486 × 244 × 177 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA*）
質量	本体　約4.8kg ご使用時　約5.7kg（乾電池、CD、テープ含む）
付属品	電源コード（1） リモコン（1） リモコン用単3形乾電池（2） 取扱説明書・保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン
MDR-CD380、MDR-D55
MDR-IF520RK

ヘッドイレーサー・クリーナー
HE-6C

クリーニングキット　KK-41

オーディオ接続コード
RK-G129、RK-G136

デジタル接続ケーブル
（角型光ケーブル←→光ミニプラグ）
POC-5AB

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われる時のご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月 - 金　9:00〜18:00
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

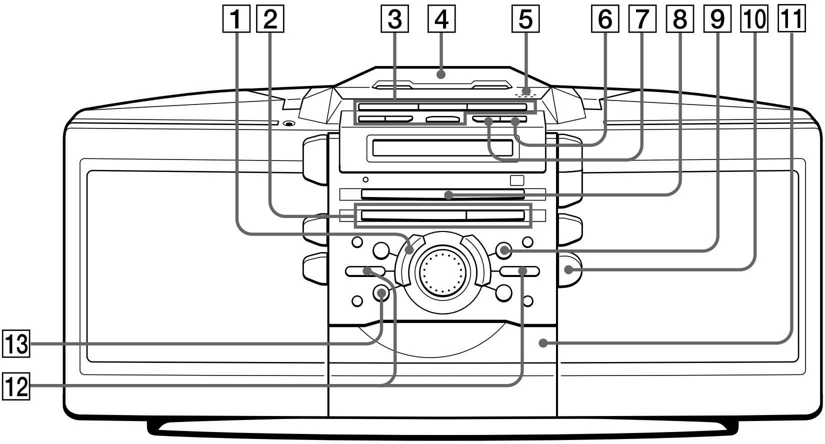
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談の内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

本体前面：CD/ラジオ/テープ部



本体前面：CD/ラジオ/テープ部

1 AUTO（オート） PRESET（プリセット）ボタン (24)

2 CD操作ボタン

- ►II（演奏／一時停止）(8)
- ■（停止）(9、19～23)

3 テープ操作ボタン

- ●/II(録音/録音一時停止)(15)
- ◄◄、►►（早送り/早戻し）(13、26)
- ■（停止）(16)
- ◄、►（再生）(12、13)

4 カセットぶた (12)

5 ⏏ PUSH（プッシュ） OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ） (12)

6 COUNTER（カウンター） RESET（リセット）ボタン (13)

7 DIR MODE（ディレクションモード）ボタン (13、16)

8 BAND（バンド）ボタン (10)

9 MODE（モード）ボタン (11、16、19)

10 ⏏ CD OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ）ボタン (8)

11 CDトレイ (8)

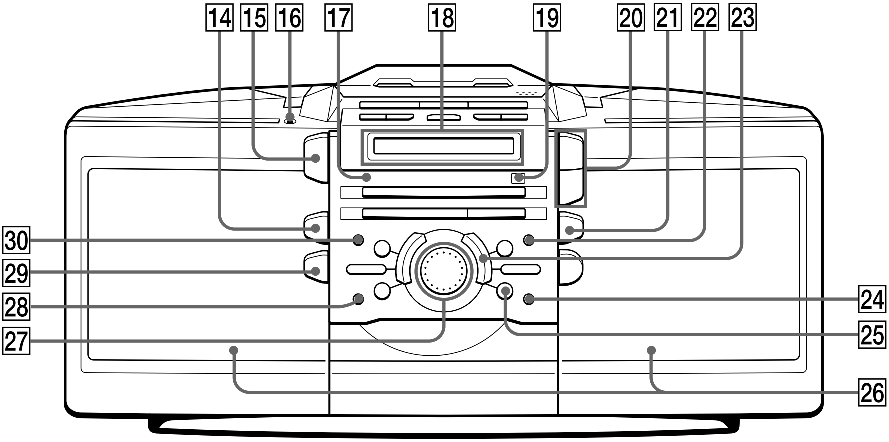
12 –◄◄、►►+（選局、サーチ）ボタン (10、18)

13 CANCEL（キャンセル）ボタン(22、33)

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

本体前面：タイマー／共通部



本体前面：タイマー／共通部

14 SOUND（サウンド）ボタン (27)

15 POWER（パワー）（電源）ボタン (9)

16 ♫（ヘッドホン）ジャック（ステレオミニジャック）

17 OPR/BATT（オペレーション／バッテリー）ランプ

18 表示窓 (8、17)

19 リモコン受光部

20 VOL（ボリューム）（音量）＋、－ボタン (9)

21 MEGA BASS（メガ ベース）ボタン (27)

22 CLOCK（クロック）ボタン (28)

23 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン(17)

24 TIMER（タイマー）ボタン (29、32)

25 ENTER•MEM（エンター・メモリー）ボタン (21、24、28、29、32)

26 スピーカー

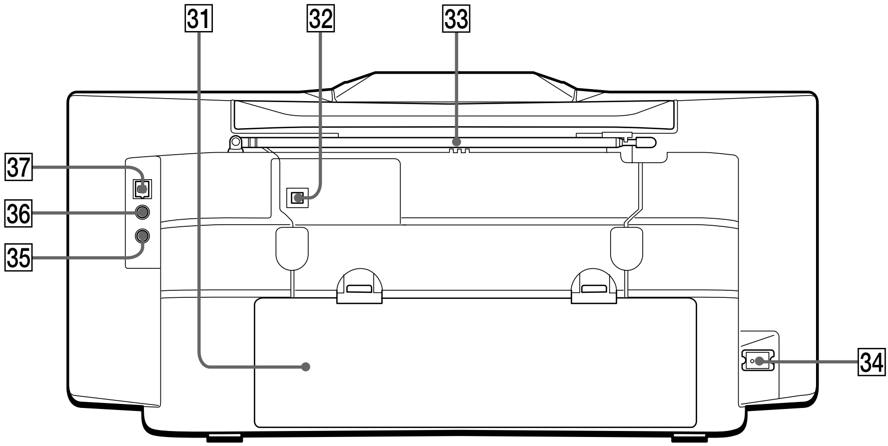
27 ジョグダイヤル (9、19、21、23、24、25、28、29、32)

28 SLEEP（スリープ）ボタン（31）

29 MD（LINE（ライン））ボタン (36)

30 STANDBY（スタンバイ）ボタン (29、32)

本体後面



本体後面

31 乾電池収納部 (34)

32 OPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子（オプティカル デジタル アウト）
キャップ入れ (36)

33 FM/TV(1-3CH)用ロッドアンテナ (11)

34 AC IN（イン） ～ジャック (34)

35 LINE OUT（ライン アウト）端子 (37)

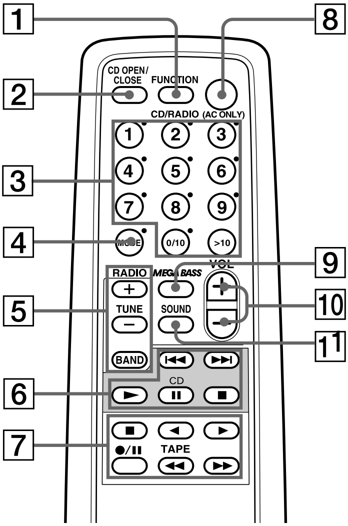
36 LINE IN（ライン イン）端子 (37)

37 OPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子（オプティカル デジタル アウト）
(36)

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

リモコン



リモコン

1 FUNCTION（ファンクション）ボタン

ボタンを押すごとに、Cd → TAPE（テープ） → RAdIO（ラジオ） → LINE（ライン） → Cd…と切り換わります。

2 CD OPEN/CLOSE（オープン クローズ）ボタン（8）

3 数字ボタン（18、19、21、23〜25）

4 MODE（モード）ボタン（11、16、19）

5 ラジオ操作ボタン

TUNE（チューン）＋、－（10）

BAND（バンド）（10）

6 CD操作ボタン

⏮/⏭（AMS（選曲）/サーチ）（9、18）

►（演奏）（8）

❚❚（一時停止）（9）

■（停止）（9、19〜23）

7 テープ操作ボタン

■（停止）（16）

◄、►（再生）（12、13）

●/❚❚(録音/録音一時停止）（15）

◄◄、►►（早送り/早戻し）(13、26)

8 POWER（パワー）（電源）ボタン（AC ONLY（オンリー））（9）

本体を電源コード(AC)でお使いのときのみリモコンで電源を入れることができます。

9 MEGA BASS（メガ ベース）ボタン（27）

10 VOL（ボリューム）（音量）＋、－ボタン（9）

11 SOUND（サウンド）ボタン（27）

用語集

シャッフル演奏

シャッフルとは「まんべんなく混ぜる」とか、「トランプを切る」の意味。シャッフル演奏では、CDに収録されている曲をランダム（無作為）に並べ換えて演奏する。

テープ自動検出機能（ATS）

Automatic Tape Selector（オートマチック・テープ・セレクター）の略。テープを入れると検出機能が働いて、テープタイプの特性に最適な状態に調整する。本機で検出されるテープタイプは、TYPEⅠ（ノーマル）、Ⅱ（ハイポジション）、Ⅳ（メタル）（録音はTYPEⅠ（ノーマル）のみ）。

索引

五十音順

ア行

頭出し
CD .... 9、18
テープ 26
AUTO PRESET 24
お手入れ 42

カ行

乾電池
本体用 35
メモリー用 34
リモコン用 35
繰り返し聞く 19

サ行

サーチ 18
再生する
CD 8
テープ 12
SOUND 27
接続
電源コード 34
シャッフル演奏 20
重低音 27
選曲
CD 18

タ、ナ行

ダイレクト選曲 18
タイマー
スリープ 31
目覚まし 29
留守録 32
テープ .... 12、26
テープ自動検出機能 49
調節する
音質 27
音量 .... 9、11、13
低音 27
電源
家庭用コンセント 34
乾電池 .... 34、35
時計を合わせる 28

ハ行、マ行、ヤ行

DIR MODE .... 13、16
ヘッドの消磁 42
表示窓 17
光デジタル出力 36
プログラム演奏 21
放送局を記憶させる 24

ラ、ワ行

ラジオ .... 10、24
リピート演奏 19
録音
CD 15
テープ 15
ラジオ .... 14、32
誤消去防止 38

アルファベット順

ATS 49

パーソナルオーディオシステム

ZS-D55

T10-1001A-2

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は……………… 03-5448-3311
- Fax…………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、
土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in China